

平成25年度 葛城市市民活動支援事業 採択事業一覧

No	団体名	事業名	事業の目的
1	葛城生薬の会	歴史ある大和生薬復活活動	日本最古の朝廷が置かれた奈良県は古来から薬の原料である生薬と深い関わりがあり、薬用植物の栽培の重要な地域となっており、また、葛城山麓地域においても役の行者の時代より歴史のある栽培作物であることから、大和生薬の復活を行い葛城生薬として地域ブランドの創生を行うものであり、さらに手作業が中心となることから高齢者の活動の場を創出することも目的とする。
2	葛城山麓ファーム	新たな葛城山麓地域の地域ブランド・プライベートブランドの創出事業	葛城山麓地域の耕作放棄地や遊休農地を再活用するために、桑や菜種の栽培を行い、これらの栽培をとおして地区の枠を離れたグリーンツーリズム交流を行い、また、六次産業化や農商工連携を行うことにより、山麓地域としてのプライベートブランド(PB)、地域ブランド(RB)を創出する。このことを基本として地域活性化を図り、地域の女性や高齢者の参加促進を図る。
3	太田里山の会	こんにゃく芋・さつまいも・シイタケ栽培の活動	耕作放棄地及び遊休農地の有効活用を図り、環境・景観保全に努め、こんにゃく芋・さつまいも・里芋・シイタケ等を栽培し、作物及びこんにゃく・焼いも等の販売を行い、地域の活性化を図りたい。また、当場所は、葛城市の飲料水の源でもある「新池」の上流平石谷川沿いに位置し、最も水のきれいな場所でもある。放置しておく、農地が転用され、資材・廃材置場として利用される恐れがあり、悪水流入の元にもなりかねない。この地を選んだ理由は、環境・景観保全を守る為でもある。
4	はず池を守る会 (平成24年度からの継続事業)	昔なつかしい川えび・もろこを育てる会	川えびやもろこの川魚等の稚苗・稚魚を放流し育てていく、また、育った川魚等を料理し食することを通して、昔の文化のしきたりや自然の営みを次の世代に語り継ぎ、子ども達に自然とのふれあいをしてもらうことを目的とする。